

緊急アピール

中部国際空港は、当地域の関係者の熱意と努力により2005年2月17日に開港しました。

リーマンショックに端を発する厳しい時期を経て、2015年度は、7年ぶりに1,000万人を超える見通しであります。この間、当地域の人・モノの国際交流のインフラとして、とりわけ、世界有数のモノづくりで我が国の発展を牽引する中部地域の拠点空港として大きな役割を果たしてきました。

国におかれては、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向け、訪日外国人2,000万人の前倒し達成が確実となり、さらに3,000万人の高みを目指すこととしております。

中部国際空港株式会社では、「セントレアグループ中期経営戦略」において、我が国が初めて経験する交流人口増大の流れを的確に捉え、2019年度までに旅客数1,500万人、国際線800万人、内、訪日外国人数400万人、国際貨物取扱量24万トンの取込を目指しており、この地域としても、国と連携・協力し、一丸となって需要拡大に向けた取組を進めているところであります。

中部国際空港は、中国を始めとする路線の新規就航や、24時間運用の利点を生かした旅客便や国際航空貨物便の深夜早朝時間帯の就航が相次いでおり、今後の格安航空会社（LCC）の拠点化等を見据えると、航空旅客や離着陸回数的大幅な伸びが予想されており、これまで深夜帯に行っていた滑走路のメンテナンス時間の確保が困難になってきております。

また、リニア中央新幹線の全線開通による巨大都市圏の誕生という大きなインパクトの活用や国の中核機能の分担等を確実に担い、我が国がさらなる発展を目指していく上で、中部国際空港が果たすべき役割は、ますます重要となります。

このため、本同盟会では、地域の関係者が一丸となり、二本目滑走路（完全24時間化）を始めとする中部国際空港の機能強化の早期実現を目指して取り組んでまいります。

国におかれても、2027年度のリニア中央新幹線の開業を見据え、中部国際空港の二本目滑走路の整備について早期の実現を図るべく、特段の配慮をいただきますよう強く要請いたします。

平成28年2月15日

中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会

会 長	愛知県知事	大村 秀章
副会長	岐阜県知事	古田 肇
副会長	三重県知事	鈴木 英敬
副会長	名古屋市長	河村 たかし
副会長	名古屋商工会議所会頭	岡谷 篤一
副会長	一般社団法人中部経済連合会会長	三田 敏雄
参 与	中部国際空港株式会社代表取締役社長	友添 雅直